

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成30年4月20日
タイトル	「芦田川用水」で水生生物生息調査！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成30年2月1日（木）から3日（土）にかけて、水土里ネット福山の管理する農業用水路において岡山大学大学院環境生命科学研究科中田准教授を中心に水生生物の生息調査が行われましたので取材しました。

この農業用水路は疏水百選の「芦田川用水」で、最も絶滅の心配が高いため『種の保存法』で国内希少野生動植物種に指定されている「スイゲンゼニタナゴ」が生息しており、水土里ネット福山は「芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会」の一員となり、保全に向けて活動しています。

調査当日は朝から雨模様で寒い中、カッパと胴長を着て農業用水路に入って調査をされました。まずは籠にエサを入れて沈め、数時間後に回収して籠に入っている魚などを調べます。その後タモ網ですくって調査しました。



スイゲンゼニタナゴを確認、元気に泳いでいました。他にもフナやコイ、ヤゴなど多くの生物が確認できました。
ザリガニなどの外来種も確認！
外来種は日本固有の生物を脅かすため駆除しました。



今回の調査では、通りかかった方が何人も声をかけてくださいました。多くの方が日頃から地域で農業用水路の管理や見守りをすることでスイゲンゼニタナゴを守っていることを実感しました。

水土里ネット福山は、これからも管理する疏水「芦田川用水」にスイゲンゼニタナゴをはじめ多様な生物が生息できるよう活動に協力し、自然環境を守る農業用水路の役割と重要性を発信してまいります。

